

第8回ふるさと自慢写真コンクール 講評

◆熊野新聞社記者 須川達也

『参道を歩くお母さん』

中央に写った人物に物語性を感じます。何を思い、どこへ向かうのでしょうか。
苔むした石段のグリーンに赤い洋服がくっきり。
空の白さがもう少し抑えられらもっとよかったですと思います。

◆熊野新聞社記者 猪島 郁

『はまぼうと海岸』

ハマボウは那智勝浦町が誇る自然の象徴の1つ。その見ごろを地元の景観と重ねた構図がよい。今後のハマボウ振興への願いも込め選んだ。

『コロコロランド』

人と自然の素朴な共生が感じられ、見た目の印象も強くてよい。山間部の里山感を捉えた情感のあるいい作品です。

◆紀南新聞社記者 瀬戸正善

『はまぼうと海岸』

手前のハマボウと奥に広がる海がとてもきれいで、また、ハマボウが紀南地方特有でなお良い。

『コロコロランド』

岩場に掛けられた足場に生活感、手作り感がにじみ出ており、奥の色濃い自然との共存が感じられる。